

# 10代の意見

ラオスで知った  
学ぶ環境の違い

◇私は今年の春休み、国際協力機構（JICA）の研修に参加しました。7年前から

山梨英和で行っているもので、今年も、近年急成長を遂げているラオスを訪れました。現地のJICA事務所を訪れ、ラオスの現状について学びました。その中でも特に印象深かったのが、ラオスの教育です。ラオスでは数学教育のレベルが低いことが問題

視されています。例えば、日本では掛け算を習った上で、図形の面積の求め方を習います。しかし、ラオスでは面積の計算に必要な掛け算を習う前に、面積の公式を学ぶとい

が、教育レベルの低下につながっているのです。そのためJICAでは昨年から小学校の教科書の改訂に取り組んでいます。JICAは資金協力以外に、教育改革にも力を入れていることを知り、改めて国際社会にとってJICAの活動は必要不可欠であると感じました。

◇実際に現地の小学校は、電球がなく差し込む光だけの薄暗い教室で、長机に5人で窮屈に座り、教科書は3人で1冊を使い、勉強していましたが、国によってこんなにも学ぶ環境の違いがあることを知り、がくせんとしました。私にできることは何なのか、今はまだ分かりません。これからもいろいろな国に目を向け、いつか国際社会に貢献できる人になりたいです。日本の国旗を振り、まっすぐな瞳

で私たちを迎えてくれた子どもたちの姿が忘れられませんが、

（山梨英和高校2年・福田涼奈）